

厚生労働科学研究（がん政策研究）推進事業

がんサバイバーシップポジウム2014

がんと健康増進

診断・治療後を健やかに暮らすヒント



プログラム

1. 高橋 都（国立がん研究センター）
〈概説〉がんサバイバーと健康増進
2. 山本精一郎／溝田友里（国立がん研究センター）
ライフスタイルに関するサバイバーシップ研究
—世界と日本の動向—
3. 小熊祐子（慶應義塾大学）
生き活きとしたライフスタイル形成に向けて
—がん経験者の身体活動を考える—
4. 上田淳子（国立がん研究センター東病院）
禁煙外来の実践から
5. 宮内眞弓（国立がん研究センター中央病院）
忙しくても楽しい食事
6. 池山晴人（国立がん研究センター）
仕事を続けるために知っておきたい三つの柱
7. 富田眞紀子（公益財団法人がん研究振興財団）
なぜ「がん」は怖いのか
—社会心理学からのアプローチ—
8. 総合討論 司会 柴田喜幸（産業医科大学）

日時

平成26年11月22日(土)
13時30分～16時30分

定員

150名 参加費 無料

会場

UDXギャラリーネクスト ホールNEXT-1
〒101-0021 東京都千代田区外神田 4-14-1（秋葉原駅直結）

事前申込制

※事前申込みが必要です。詳しくはホームページにて
<http://www.cancer-work.jp>

国立がん研究センター がん対策情報センター がんサバイバーシップ支援研究部
〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1 FAX 03-3547-6627
e-mail: info@cancer-work.jp

共催

「がん患者の健康増進のための乳がんサバイバーシップコホート研究」(H26-がん政策-一般-001) 研究代表者 山本 精一郎
「働くがん患者の職場復帰支援に関する研究—病院における離職予防プログラム開発評価と企業文化づくりの両面から」(H26-がん政策-一般-018) 研究代表者 高橋 都
財団法人 日本対がん協会